

根源的暴力

Primordial Violence

鴻池朋子展

2015. 10. 24 SAT - 11. 28 SAT

神奈川県民ホールギャラリー

開館時間 10:00-18:00 (入場は閉場の30分前まで) 会期中無休
*11月21日(土)はアート・コンプレックス開催のため展覧会は17:00で閉場いたします。
*毎週水曜日の午前は子どもや障がい者の方の優先日です。おしゃべりしながらご覧ください。

料金 一般700円 学生・65歳以上500円 高校生以下無料
*障がい者手帳をお持ちの方とその付添の方1名は無料 *10名以上の団体は100円引き

主催 神奈川県民ホール (指定管理者: 公益財団法人神奈川県芸術文化財団)
企画協力 一般財団法人セゾン現代美術館 ゲスト・キュレーター 坂本里英子 (セゾン現代美術館学芸員)
助成 芸術文化振興基金 協賛 SHISEIDO 協力 秋田県立博物館 VOLCANOISE
音響デザイン 小島ケイタニーラブ 伊藤豊 (イトウ音楽社)

第22回
神奈川県国際芸術フェスティバル

牛革、クレヨン、水彩 600x2400cm 2015

原野へ還る一匹の

鴻池朋子の最近の行為は、文明から原野へ還ろうとする一匹の動物のようです。ここ数年私たちは様々な自然の驚異にさらされてきました。

そして震災後の原発問題が明らかにした放射能という目に見えない世界との関わりには、「見る」ということが次の領域に入ったことを感じざるをえません。

明らかに変容する身体と地核の関係性を敏感に感じとった鴻池は、それまでの制作を停止し、山村を歩き、中心から周縁に追いやられた物語を集め、積極的に美術の外へ外へと移動する旅をしてきました。

そして今、新たな針と糸で、「動物の衣」となる絵画を縫いはじめています。人間がものをつくり生きていくということは、自然に背く行為であり根源的な暴力です。

首都圏では6年ぶりの大規模個展となる本展は、

その「暴力」を正面から見つめ、

なぜ人はつくるのかというアートの根本的な問いに

観客と共に考え悩む展覧会です。



〈関連企画〉

パフォーミングアーツとおとぎ話の共演！
Art Complex 2015

「異界婚姻譚〜同じものではいられない」+トーク
出演：山川冬樹（ホーメイ歌手、アーティスト）、鴻池朋子
監修：村井まや子（神奈川大学教授/おとぎ話、比較文学）
11月21日（土）19:00開演 会場：第5展示室

料金：全席自由/入場整理番号つき
一般2,500円 学生2,000円 発売：10/3（土）
詳細はwebにて<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>
*公演当日に限り本チケットで展覧会入場可

鴻池朋子 アーティスト・トーク
司会：坂本里英子（本展ゲスト・キュレーター、セゾン現代美術館学芸員）
11月7日（土）14:00-

トークセッション
「新らしき動物たち〜アート神話の解体」
石倉敏明（秋田公立美術大学講師/芸術人類学）、
吉川耕太郎（秋田県立博物館 主査兼学芸学主事）、鴻池朋子
11月23日（月・祝）14:00-
会場：展示室内（両日）
*予約不要・当日入場券にて参加可 *参加多数の場合は入場制限あり

神奈川県民ホールギャラリー

〒231-0023 横浜市中区山下町3-1
TEL:045-662-5901(代表)
<http://www.kanakengallery.com>
みなとみらい線・波谷駅から35分、横浜駅から6分
日本大通り駅から徒歩約6分、元町中華街駅から徒歩約12分
JR・関内駅または石川町から徒歩約15分
市営地下鉄・関内駅から徒歩約15分
市営バス・芸術劇場・NHK前下車徒歩約2分
横浜駅東口バスターミナル2番のりば乗車（所要時間約25分）
桜木町バスターミナル2番のりば乗車（所要時間約10分）
*上記のりばから乗車するバスはすべて「芸術劇場・NHK前」を通ります。
但し、148系統急行線を除く。
県民ホール有料駐車場（84台）もご利用ください。
神奈川県民ホール【指定管理者：(公財)神奈川県芸術文化財団】



鴻池朋子 *Konoike, Tomoko*

1960年秋田県生まれ。2009年東京オペラシティギャラリーでの「インタートラベラー 神話と遊ぶ人」の大規模個展では深遠な世界観が話題を呼ぶ。'11年ギャラリーヒュンダイ（韓国）、'13年ウェンディ・ノリスギャラリー（サンフランシスコ）他個展多数。社会の境界に生息する森羅万象の物語を、様々なメディアと壮大なインスタレーションで表現し、国内外で高い評価を得ている。